

東高のみなさんへ

初めまして、原田美穂子と申します。このたび親交のある女優の紺野美沙子さんから送られてきた本「星は見ている」を読み、紺野美沙子さんの朗読される動画を見て、実話であるということもありますが、胸がはり裂けそうな思いになりました。前夜まで会話していた中学生の息子が、一瞬にして人生の幕を閉じなければならなかったこと、命より大切な我が子と一瞬にして別れなければならなかった、原爆という凶器。

何げなく過ごしてきた日常が一瞬にして奪われます。無くして分かるありがたさ、あまりにも残酷過ぎて直視してられなくなります。

私は ALS という難病を四年前に発症しました。まさになにげなく暮らしていた当たり前の日常が、ガラッと変わってしまいました。歩けなくなり、字が書けなくなり、スプーンが持てなくなり、スマホを操作できなくなり、運転が、着替えが、お化粧が、シャンプーが、お料理ができなくなりました。

今は喋れない、カラオケで歌えない、キーボード弾けない、美味しい物が食べられなくなりました。こんなに、ないないな一瞬にもできないづくしで、生きて何が楽しいのか？と思いました。

原爆とは全然違いますが、日常が変わってしまっても生きようとする力は共通するところがあるなあと感じて、私はこの本をぜひこれから羽ばたいていかれる皆さんに贈りたいと思いました。紺野美沙子さんにお話ししたところ、連名で寄贈しましょうと仰って下さり本日ここに贈らせていただきます。是非とも手にとってお読み下さい。皆さんのこれからのご活躍をお祈りしております。

2023 年 11 月 吉日      原田美穂子

追伸 私の闘病記を note というサイトに投稿しています。宜しければこちらものぞいていただくと喜ぶます。ペンネームは、「祐ちゃんママ」です。只今その 17-7 を執筆中です。

